

やってのける生き方。肌と肌が触れ合うように緊密な人間関係のなかで、我を張り自己主張だけをするのではなく、周囲との協調の中で静かに実力を発揮する生き方。そんな生き方こそが、逆にこの難しい時代に「自分を生き抜く」秘訣ではないかと考える。

会 員 の 声： 或日随想 駒形 実

先週1月19日（土）本間茂男氏の訃報に接した。

しばらく信じられないまま、人生半ばにしてここで生命を終えざるを得なかったのは、さぞ無念で悔しいことと思う。悲報に接するといつも思うのは沙羅双樹の花の色、花びらも風の前の塵の如し、人生の無常、愛別離苦を身にしみて切なくなる。2年先輩の本間氏は、高校では存じ上げていたが北RCの縁で、三十数年振りに再会できたばかりであった。これから、何かとご教示願いたいと思っていた矢先、残念でならない。本間氏の冥福をお祈りすると同時に冥土から叱咤激励して頂きたいと願っている。

ところで進歩した現代でも有史以来、何ら変わらずいろいろな面で、いつも社会構造の歪みが起こっている。昨年9月、アルカイダの米国批判の実力行使。対し米国のアフガン侵攻。所詮、経済力、軍事力の差は歴然、一般の人の迷惑を顧みず精一杯の実力行使。アルカイダのアンチテーゼなのだろうか。民主主義の戦後教育を受けた倫理観では到底理解し難いもの。外山さんが言われる様、世界の貧富の差の拡大が根底にあるのだろうか？世界中を瞬時に情報が駆け巡る世の中、否応なしに格差が広がることになる。永遠に争いをなくすことは不可能なのか。世界の覇権構造も流動的になりそうな気配が感じられ、外交問題の処理が難しい時期に入った感がある。官僚、政治家も将来を見据えて対処してもらいたい。

そのような中で日本は、米国主導で驚異的な経済成長を遂げ、豊かな社会を実現出来た。平和で民主的な豊饒の日本に住めるのは幸運である。

経済界はグローバル化の昨今、企業家もボーダレスの活発な企業行動が常態化している。中小企業の経営者はバイタリティ溢れる優秀な方が大勢おられる。日本の経済力はまだまだ捨てたものではない。そろそろ税金の使い途を無駄の無い様、政治家も政商との癒着を反省すべき時期では・・・。。老人社会の過疎化が起きない様、もっと世界に通用する中小企業を多く育てる通商政策を施してほしい。

つれづれなるままに生意気な事を述べたことをお許し願いつつ、これからも皆様のご指導をお願い申し上げます。

1月29日例会： 新年会 於三条ロイヤルホテル 19：00～

2月2日～3日例会： 親睦旅行

2月5日例会： 例会日変更（親睦旅行と振り替え）

2月12日例会： 世界理解月間 堀川国際奉仕委員長
卓話「ペイオフ」石川勝行会員

2月19日例会： 卓話 西山 斉会員・笹原壮玄会員

2月26日例会： 夜例会 於三条ロイヤルホテル 点鐘午後7時
卓話「目の成人病」としみ眼科医院院長 山口淑美様



会 長／木 宮 隆

幹 事／山 中 正

SAA／長谷川 恵慈

三条北ロータリークラブ週報

人類が 私たちの仕事

例 会 日
2002. 1 . 22
累 計 No 737
当 年 No 28

国際ロータリー会長 リチャードD. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五

ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内

☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行 事： 卓話「午年生まれ」大野新吉会員、羽賀一夫会員、落合益夫会員、山本 賢会員

出 席： 本日の出席 60名中 38名

先々週の出席率 62名中 47名 75.81%（前年同期85.71%）

先週のメイクアップ： 1月15日 田上RCへ 青木省一さん

17日 燕RCへ 笹原壮玄さん、山口龍二さん、高橋彰雄さん

18日 吉田RCへ 石川勝行さん

19日 佐野GBエレクト壮行会出席（新潟）中條耕二さん

21日 三条南RCへ 中條耕二さん、阿部勝子さん

ビ ジ タ ー： 三条RCより 橘直樹さん

会 長 挨 拶： 木宮 隆



弔 辞

昨日の朝、突然の悲報に触れたとき、最初は我が耳を疑ったほどでした。団塊の世代の同期の桜を失うことの悲しさ、やるせなさが込み上げてきて、思いの内を言い表す適当な言葉が見つかりません。

思えば、あなたとはずいぶん長い付き合いでした。同級生して机を並べた小学校時代、さらに、中学、高校も同じ学び舎で、共に勉学に、スポーツにいそしんで参りました。

40年を越える付き合いの中で、しかも、同じ年でありながら、何故か、何をやるのも、あなたが私より一歩お先の人生でした。JCにしろRCにしろ、私が入会する時にはすでに大活躍のあなたでした。私はあなたのそんな姿を見るにつけ、大いに刺激を受けたものでした。

だからと言って、「シゲちゃん」冥土の旅まで一足お先にはないじゃないか、せめてお互い孫の顔を見る時まではよき友、よきライバルとして、僕の目標であり続けて欲しかった。今はそんな気

持ちで一杯です。

今日ははからずも、三条北RCの会長として、あなたを送らなければなりません。

あなたは北RCの創設から関わって来られた、数少ないチャーターメンバーの一人でした。若くして幹事の大役も経験され100%出席の表彰も毎年の様に受けておられました。

各種会合には奥様を同伴され、そのおしどり夫婦ぶりは北クラブでもつとに有名でした。若い頃からスポーツマンであったあなたはゴルフ同好会を主唱され、クラブの親睦活動の一翼を担ってこられました。さらに、お酒をこよなく愛したあなたは例会の卓話で、ソムリエ顔まけのワイン談義を披露してくれました。そんな数々の思いでの一こま一こまが走馬灯の様に蘇ってまいります。

あなたが好きだったベートーベンの皇帝を聞く度に、ボジョーレ・ヌボーの季節が巡って来る度に、カッコよかったあなたの姿を、その涼やかな微笑と共にきっと、思い出すことでしょう。仕事は勿論、JCやRCなどで家庭を顧みる機会の少なかった人生だったと思います。しかし、これからは、今まで以上に、父親としてのあなたの意思が「存在感」となって、奥様や息子さんと共に生きつづけることを願ってやみません。

本間君、いよいよお別れです。あなたの意思は、今しっかりとご遺族に受け継がれたと確信いたします。どうか安らかにお眠り下さい。

平成14年1月20日

三条北ロータリークラブ会長 木宮 隆

本日の会長挨拶は本間君の葬儀での弔辞の掲載をもって替えさせて頂きました。

幹事報告： 山中幹事

・RI日本事務局より ロータリーレート変更のお知らせ

2月1日から1ドル130円に変更します（現行122円）

・野沢ガバナーより 第2回会員増強セミナー開催のご案内

日時 2002年2月17日（日）12：00～

会場 ホテル新潟

・1／19本間茂男会員が急逝されました。享年56歳 19日お通夜、20日告別式が執り行われました土日の休日にあたり、会員皆様へのご案内が行き届かなかったことをお詫びします。

・韓国文化RCの会員3名が1／18来日され、1／19（土）正午より2時間ほど懇談しました。当クラブは会長幹事を含め5名出席。今後の交流について協議しました。バナーは回覧致します。お土産に頂いた、ブランデーは次週新年会に用意します。

ニコニコボックス：	22日現在累計 673,000円
-----------	------------------

大野新吉君 本間会員のご逝去に対し心よりご冥福申し上げます。久々の卓話です。午年生まれの三会員の卓話です。男性の厄が23才、42才とは聞いていましたが60才の厄は初耳でした。一頃昔は、不勉強の為60才にならずに大半はあの世へと旅立ったものです。ですから本間さんのいましめを無駄にせずこれから60才～70才位迄が天から与えられた自由の余生と思い、若い頃苦労かけた“カミサン”と旅行など自

ります。

落合 益夫（昭和17年2月14日生）

何時もここに登壇するときは、失敗のないよう原稿を用意しますが、今日は準備がないので上手く出来ないときはお許しを頂きます。

私が入会したのが1987年で15年余となりますが、いつもロータリークラブがスムーズに運営されるには、会員それぞれが責任を果たさなければいけないと考えています。

5年前の55才のとき会長エレクトに決りましたが、その時期に軽い脳梗塞になり左手の痺れや発音のもどかしさなど会長が務まるか大変不安なときもありましたが、三之町病院へ通院し当初は脳の血流を良くする薬だけでしたが、半年して糖尿病の薬、二年ほどして血圧の薬、そして今は痛風の薬と生活習慣病が重複しています。このことを死の四重奏と云って大変危険なことのようですが、毎朝たくさんの薬を飲んで家族に笑われています。これも完治したお陰で、山本先生には感謝しています。

先日、運転免許証の更新の手続きで視力の検査をしました。小中学校時代は2.0で視力には自信があり5年前は簡単でしたが、今回は大型免許で眼鏡着用となり大きなショックです。

私は歯の治療は今井先生のお世話になっていますが、歯も5年前から急にボロボロです。両親とも60才の頃は入れ歯をしてそれを普通のこととおもい、60才までは入れ歯はしたくない、60才を越えてもまだまだ、今は80才で自分の歯が20本以上あるのが目標とか、なかなか厳しい目標ですが努力をして長持をさせたいと欲張っています。

健康も体力も55才から60才が節目ですが体力の劣えや病気とは辛抱よく付きあって行きたいと思います。

最後になりましたがロータリーに参加しているときは、会社や家庭では味わえない楽しいことがたくさんあります。ロータリーとは最期まで付き合いますので皆さんよろしく願います。

山本 賢（昭和17年11月29生）

20世紀は「陽性の創業」の時代で、良くも悪くも単純な躍動感にあふれていたという。これに対し21世紀は、「陰性の守成」の時代なのだという。これは種々の要因が複雑に絡み合う、「シンディ・我慢」の時代ということなのだろう。

こんな時代に生きる我々にとって、「自分を生き抜く」とはいかなるものなのであろうか。その鍵のひとつにこんな言葉がある。「人生 意気に感ず、功名 誰か 復論ぜん」（人間の行動基準は心のふれあいや感動にあり、功利主義的な損得は問題ではない）

私は唐代の武将のこの詩句を見た時、現代に生きる人物としてプロ野球の長島茂男氏を思い浮かべた。

我慢の時代というのは、どうしても目先の利益に走り人間関係がギスギスしてくる。だからこそ、あっけらかんと「損得なんて関係ないよ、／＼」といったのけられる彼のキャラクター、出処進退の爽やかさは、我々のお手本になりうるように思われる。（当然、努力が裏打ちする真の実力が伴ってこそ言える台詞ではあるのだが・・・）

また、自分に厳しく他人に優しい。そんな当たり前のようで、その実とても難しい事をさらりと